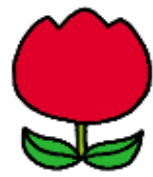




～8月のクラスだより～



ちゅうりっぷ組

【8月の保育のねらい】

- ・友だちや大人と一緒にプール遊びを楽しむ。
- ・自分で着替えて、脱いだ服を片づける。

初めての幼児クラスのプールを楽しみにしているこどもたちです。水分補給をこまめにしながら、大きなプールの中で身体も心も開放的に遊びたいと思います。毎日元気に遊べるよう、夜は早く寝る・朝食をしっかり摂るなど規則正しい生活リズムで過ごそう、お願いします。

＜ホールでの食事＞

ちゅうりっぷ組はホールで食事をしています。テーブルごとに呼ばれるとおかずやご飯を配膳台まで取りに来ます。“椅子をしまっておいて、友達の後ろに並ぶ”という流れも身についてきました。一人ひとり食べられる量を大人に伝えて盛ってもらいます。最近、苦手なおかずが出て「にんじんだけなら食べられる」「ちょっとだけにして」など、どの子も少しは食べてみようとして、自分の食べられる食材や量が徐々にわかってきているところです。また、苦手だけど同じテーブルの友達がおいしそうに食べる姿を見て一口食べてみると…「やっぱりおいしかった!」「食べられたよってママに言う!」なんて姿もあります。食べ終わると「ごちそうさま」を言い食器を両手でそうっと持ち運び一つ一つ片付けます。ルールやマナーを伝えていながら楽しく食事をしています。



さくら組

【8月の保育のねらい】

- ・全身を動かし、夏の遊びを十分に楽しむ。
- ・生活や遊びの中でルールや約束を守りながら友だちと過ごす。

＜つくってたのしい＞

風鈴や紙コップロケットを作ったり、育てているひまわりや枝豆をまじまじと観察し、葉っぱの形の違いに気付いたりそれを絵に描いてみたりしている最近です。手指が細かく使えるようになり、自分で作り出すことが楽しくなっています。イメージしたことを形にしたり、手を動かし作りながらイメージが膨らむことが楽しそうなこどもたちです。紙コップロケットは簡単に出来るので、自分オリジナルのロケットを作り、すぐに友達と一緒に遊べるのも魅力です。自分の作ったロケットを友達同士で並べて跳ばしたり、友達の分と「重ねて跳ばしてみよう」と考えついたり、跳んだコップの着地の仕方が「うまくいった」「回って落ちた」等々こどもならではの発想で楽しんでいました。ロケットが跳ぶたび、友達とグラグラ笑い転げてしまう様子がさらにこどもらしく、“笑いの伝染”の楽しさを感じたさくら組です。



もみじ組

【8月の保育のねらい】

- ・体を大きく動かしてプール遊びを楽しむ。
- ・ルールを守って友だちと楽しく遊ぶ。

【今月の挑戦】

- ・自分の縄跳びを編む。

＜もみじ23にんのはなびあんどかれーぱーていー＞

7月16日に「もみじ23にんのはなびあんどかれーぱーていー」を行いました。当日はお米研ぎ、ゼリー作り、カレー作りと今までの成果をフルに発揮し、グループごとのオリジナルの味を堪能しました。(もちろん、ほかのグループの味見もしかりしました!)涙を流しながら玉ねぎを切ったり、「あついあつい」と言いながら鍋をかきまわしたり、こどもたちの出来ることって本当にたくさんあるなあ、と見ていて思いました。お楽しみの花火は、最初はこわかった子もそのうち怖さを忘れていました。友だちと輪になって火花を散らし笑い合い、ドラゴン花火の火花から逃げる大人を見てげげら笑い、あっという間に終わりとなりました。

例年のお泊まり会は“ママ、パパと離れて泊まる”ことで自信がつき、友だちとの絆が強くなり、こどもたちが大きく変化するきっかけになる行事です。今年は泊まることはできませんでしたが、自分たちで話し合っって色々なことを計画し「やりとげた」達成感を感じ、友だちと楽しい思い出を共有することができたのではないのでしょうか。形は違っても「友だちと一緒にできた、楽しかった」という経験がこどもたちの中に残るといいな、と思います。



ひよこ組

【8月の保育のねらい】

- ・沐浴やタライでの水遊びなどで水の感触を味わい楽しむ。



＜手づかみ食べて楽しい!＞

食べることが大好きなひよこ組のみんな。食事ワゴンが運ばれてくると、“おっ!ごはんが来た!”と、食事スペースの前まで行き、大人が準備しているのをじっと見て期待しているようです。“いただきます”をすると、スティック状の野菜の煮物や肉団子など、つかみやすい食材を自分で手づかみして食べる姿が増えました。また、コップやお椀を両手で持って飲めるようになってきたり、食器を一人で持つのが難しい子には、大人が手を添えて一緒に持って飲む経験を重ねています。手づかみの際には、一口サイズに切って手づかみ用のお皿に一口ずつ盛って、口の中に入れてすぎないように見守り自分で食べたり飲んだりできると、嬉しそうに笑顔で食べています。

保育者とゆったりとした雰囲気の中、自分で食べる楽しさや楽しさをたくさん味わえることを大切に、過ごしていきたいと思っています。



りす組

【8月の保育のねらい】

- ・遊びを通して、友達・保育者とのやりとりを楽しむ。
- ・水に慣れ、水の感触を楽しむ。

＜みてみて～すごいでしょ＞

身体を動かすことが大好きなりすぐみ。肋木のすべり台は特に人気で、“待ってました”といわんばかりの笑顔で遊び出します。そして頂上まで登ると、まるで自分が大きくなったかのように「高いね～」「すごいねえ～」と声を出し、得意げな表情を見せてくれます。最初は怖くてできなかった子もいましたが、友達の姿をみて“やってみよう”と挑戦してみる子もいました。はしごもすべり台も、何度も何度も繰り返し遊ぶことで少しずつ慣れ、今では、すいすいと身体を上手に動かし、遊ぶことができるようになりました。すべり台を通して、“怖かったけど自分の力でできた”が自信となっているこどもたちです。色々なことを体験していくことは大切だと思います。体験することでの気づき・発見・成長がありますよね。これからも、安全を考慮しつつ、身体を動かす遊びをはじめ、こどもたちと沢山様々なることを経験していきたいと思っています。



うさぎ組

【8月の保育のねらい】

- ・保育者に見守られながら衣服の着脱を自分でやってみようとする
- ・保育者や友達と水遊びを楽しむ。

＜野菜の収穫＞

苗植えをしたきゅうり、トマトをみんなで収穫しました。「きゅうりトゲトゲしてるね」、鼻を近づけながら「何か匂いがする」「トマト赤くなったね!」と様々な発見をしたこどもたちです。早速おやつ時間にこどもたちの目の前で切って、食べました。トマトは苦手な子もいましたが、2回目の収穫の時にミートソーススパゲティの上にトッピングし、混ぜて食べると「おいしいね」と言いながら食べていました。きゅうりは塩と味噌を用意し、自分で選んで食べました。人気は味噌でしたよ。すいかも少しずつ大きくなってきているので、食べることを楽しみにしているこどもたちです。次の収穫も楽しみに、水やりをしていきたいと思っています。

